

# ぎんがし 月報

加古川市議会事務局

内線3721～3723 平成16年2月2日 376

## 第1回市議会臨時会を開催

第1回市議会臨時会は1月21日に開会され、初日に水道事業給水条例の一部を改正する条例の訂正及び訴えの提起のことに変更する専決処分を承認しました。また、22日には訂正を承認した同条例を可決し、同日、閉会しました。

### 水道事業給水条例の一部改正条例を可決

これは、水道事業給水条例の一部改正で、その主な内容は、水道料金を平均21.7パーセント、分担金を平均30パーセントそれぞれ引き上げ、消費税について内税方式から外税方式に改めること、手数料を平均27.3パーセント引き上げること、主として生活用水として使用する口径13ミリメートルから25ミリメートルの使用者に付与してきた基本水量を2箇月あたり20立方メートルから10立方メートルに引き下げることなどです。

料金改定の理由を質問したのに対し、理事者から「平成9年度をピークに水需要は減少傾向にあり、水道料金収入が大きく減少したこと、また、9年4月に消費税率が3パーセントから5パーセントに引き上げられたときに料金を据え置いたことなどにより、財政状況は年々悪化している。早急に赤字財政から脱却するとともに、安全な水を安定的に供給できる財政基盤を確立するため、値上げしようとするものである」との答弁がありました。これに対し、経営健全化に向けた取組みを質問したのに対し、理事者から「事務事業の見直しによる効率化の推進や人件費の節減及び建設コストの縮減等に努め、これらの取組みを行わなかった場合と比べ、年間1億円程度の経費を削減してきた」との答弁がありました。

議員から「県水の受水について、県が受水団体

の要望に応じて水源開発に投資してきたことは理解できるが、使用水量は減少しており、見直しも必要であると考え。今後、県下28受水団体が一致して引下げを求めていくことはできないのか」と質問したのに対し、理事者から「16年度から19年度の給水協定については、15年度と同量で締結しているが、20年度以降の給水協定については、他の受水団体とも協議し、積極的に引下げを求めていきたい」との答弁がありました。

議員から「利用者への負担を緩和するため、一般会計からの繰入れはできないのか」と質問したのに対し、理事者から「繰出基準に則った消火栓の維持に要する経費や加古川大堰建設に係る元利償還金の一部については、すでに繰入れを受けている。しかしながら、地方公営企業法第17条の3の規定により『その他特別な理由がある場合』は、さらなる繰入れが可能である」との答弁がありました。

議員から「事業計画の見直しや一般会計からの繰入れについて、さらに検討してもらいたい」との要望がありました。

議会として慎重な審議を重ねるなか、本案に対する訂正が本会議において承認されました。

その主な内容は、水道料金改定に関し段階的な緩和措置を行うため、附則において従量料金の暫定措置を新たに定め、平均改定率について、16年度は15パーセント、17年度は18パーセントとすることなどです。

議員から「暫定措置による財源の不足に対応するため、鉛給水管布設替事業を一部先送りしようとしているが、安全性が損なわれることはないか」と質問したのに対し、理事者から「水質については国の基準を満たしており、通常の

使用状況では問題はないと考える」との答弁がありました。

議員から「水道料金改定について、段階的な緩和措置が取られており、十分な配慮が伺えることから、本案に賛成する」「基本水量を20立方メートルから10立方メートルに引き下げたことについては、高齢者など使用量の少ない利用者に配慮した見直しであり、評価できる」「財政状況を鑑みると、値上げについてはやむを得ないと考えますが、利用者に対し、十分な説明責任を果たすとともに、民間の経営方針を取り入れるなど、さらなる効率化に努めてもらいたい」との意見、要望や「現在の厳しい社会経済情勢を勘案すれば、今回の値上げは、市民に多大な負担を強いるものであり、本案に反対する」との意見がありました。

請願

[不採択となったもの]

請願第13号 年金・税制・医療制度について

議員から「少子・高齢化が急速に進展するなか、社会保障など公的サービスにかかる費用の増加が見込まれる一方で、現役世代の負担は既に過重となっている。また、老年者控除など年齢だけを基準にした優遇措置により、65歳以上の年金受給者の課税最低限は現役世代の給与所得者より高い水準となっている。世代間における税負担のバランスを確保し、所得に格差のある高齢者間における税負担の公平を図る観点から、これらの優遇措置の縮減等を講じ、高齢者に対しても担税力に応じた負担を求めていかざるを得ない。よって、本案には賛成できない」との意見がありました。

請願第14号 年金・税制・医療制度について

議員から「国民年金の老齢年金受給者のうち、自営業者等の平成13年度における平均年金月額が4万5,431円であり、生活する上で非常に厳しい状況にあることから、減額は認められない。また、基礎年金の国庫負担引き上げについては、これまで先延ばしにされてきたが、年金に対する信頼性を確保する観点からも、直ちに実施すべきである」「高齢者医療制度の創設にあたっては、公費負担の増額等によ

って安定的な財源を確保し、保険料や医療費の負担を少しでも軽減すべきである」との採択を求める意見や「現在の高齢者を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるが、年金制度を将来にわたって存続させ、安定的なものとするためには、物価スライド制度による減額もやむを得ないとする。また、基礎年金の国庫負担引き上げについては、現在、国において早期実現に向けた真剣な議論がなされているところであり、あらためて意見書を提出する必要はない」との不採択の意見がありました。

陳情

[みなし不採択となったもの]

陳情第13号 自衛隊のイラク派兵に反対することについて

陳情第14号 イラクへの自衛隊派遣の中止を求めることについて

各常任委員会での報告事項

総務常任委員会

平成16年度採用 事務嘱託員の募集について  
訴えの提起(詐欺行為取消請求控訴事件)について

平成15年火災・救急・救助概要について

福祉厚生常任委員会

高齢者・障害者戸別収集について

ごみ収集車での引火事故について

氷丘南保育園の民間移管に関する今後の予定について

平成16年度保育園入園承諾状況について

養護老人ホームの移管先法人の募集について

文教経済常任委員会

中学校給食申込状況について

成人式について

来加状況(1月)

26日(月) 山口県下関市議会 5名

(PFI導入による公共施設整備について)

27日(火) 千葉県八街市議会 4名

(行政評価システム、総合スポーツクラブについて)

\*\*\* 2月の行事予定 \*\*\*

4日(水) 議会運営委員会行政視察(~5日)

20日(金) 各常任委員会

23日(月) 議会運営委員会・会派代表者会